

理工学部 物理学科	出願番号	受験番号	※大学使用欄 N
-----------	------	------	-------------

**公募制推薦入学試験 [探究活動評価型] [女子特別推薦型]
志望理由書**

志望区分 (該当するものの□に✓してください 併願する場合は両方の□に✓してください)	<input type="checkbox"/> 探究活動評価型	<input type="checkbox"/> 女子特別推薦型
---	----------------------------------	----------------------------------

学校名 (高校名)		フリガナ	
		氏名	

本学部・学科を志望した理由、あなたの目指す将来の進路および自らを本学部・学科に推薦する理由について、1,000 字程度にまとめ、記入してください。(本人直筆。黒・青のボールペン。消せるボールペンは使用不可)

100

200

300

400

志望理由書

出願番号		氏名	
------	--	----	--

500

600

700

800

900

1000

理 工 学 部 物 理 学 科	受 験 番 号	※大学使用欄 N
--------------------	---------	--------------------

公募制推薦入学試験 [探究活動評価型] 探究活動に関するレポート

※（本人直筆。黒・青のボールペン。消せるボールペンは使用不可）

学校名 (高校名)		出願番号	フリガナ	
			氏 名	

[探究した研究課題] (50字以内)
探究した内容がわかるようなタイトルとすること。
 例) 電子の比電荷を求める

--	--

[研究背景] (350~500字)

過去の研究・調査の動向(研究課題に関して何がどこまで明らかになっているのか)を簡条書きで示すこと。また、研究課題の意義(なぜこの研究課題に取り組まなくてはならないのか)を簡潔に示すこと。
 例) エレクトロニクスは我々の日常に欠かせない技術であり、その中で鍵となるのは電流の担い手となる電子である。
 例) 電子の電荷と静止質量の比は19世紀末にJ.J.トムソンによって求められたが、21世紀になって私たち自身がこの比をどれほど正確に求められるのかという点に興味を持った。

	100
	200

[得られた結果] (300～500字)

実験、観察、調査等から得られた結果を番号ごとに簡潔に示すこと。表やグラフ、写真等を別紙として提出してもかまわない。

例) 図1 (別紙参照) に示した○○と△△の関係から、これらは(1)式の関係を満たしていることがわかった。

また、この傾きから比電荷を求めたところ、誤差が○%以下に抑えられた。

理工学部 機能分子化学科	出願番号		受験番号	※大学使用欄 N
--------------	------	--	------	-------------

公募制推薦入学試験 [探究活動評価型] 志望理由書

学校名 (高校名)		フリガナ	
		氏名	

本学部・学科を志望した理由、あなたの目指す将来の進路および自らを本学部・学科に推薦する理由について、1,000字程度にまとめ、記入してください。(本人直筆。黒・青のボールペン。消せるボールペンは使用不可)

100
200
300
400

公募制推薦入学試験〔探究活動評価型〕 探究活動に関するレポート

※（本人直筆。黒・青のボールペン。消せるボールペンは使用不可）

学校名 (高校名)		出願番号		フリガナ	
				氏名	

〔探究した研究課題〕(50字以内)

探究した内容がわかるようなタイトルとすること。

例) ○○川におけるマイクロプラスチックの流入源の調査

50	
----	--

〔研究背景〕(350~500字)

過去の研究・調査の動向(研究課題に関して何がどこまで明らかになっているのか)を簡条書きで示すこと。また、研究課題の意義(なぜこの研究課題に取り組まなくてはならないのか)を簡潔に示すこと。

例) 2015年、●●大学の研究グループにより、○○川の河口から5 km上流においても1 m²あたり234個のマイクロプラスチックが確認された。(●●大学研究紀要、●巻、●号、●~●ページ、○○年)

例) マイクロプラスチックは生物に対して物理的および化学的被害を及ぼす懸念があるとして世界中で問題視されている。身近な流入源について調査することは、私たち自身が身のまわりでマイクロプラスチックの解決のためにできることを考えるうえで、欠かせない情報である。

100	
200	

300

400

500

[設定した目的・仮説] (125字以内)

課題に関して何をどこまで達成しようとしたのか、わかりやすく示すこと。なお、目的は「本研究では、～することを目的として研究(調査)を行った。」というかたちで表すこと。

例) 本研究では、●●川の河口から●km～●kmの間について、マイクロプラスチックの流入源、流入量を推定することを目的として、マイクロプラスチック量の調査を行った。

100

125

[課題を解決するためにとった方法] (100～300字)

どのような実験、観察、調査等で、どのような結果を得ようとしたのか、その方法を箇条書きで示すこと。

- 例) ①●●大学の研究グループが確認した地点から上流に向かって 1 kmごとに調査を行った。
- ②▶▶法により、1 m³あたりのマイクロプラスチック量を確認した。
- ③各調査地点のマイクロプラスチック量を地図上に示し、流入源、流入量について考察した。

100

出願番号		氏名	
------	--	----	--

													400
													500

[グループ活動の場合は、探究活動で果たした役割] (125字以内)

													100
													125

フロンティアサイエンス学部	出願番号		受験番号	※大学使用欄 N
---------------	------	--	------	-------------

公募制推薦入学試験〔探究活動評価型〕 志 望 理 由 書

学校名 (高校名)		フリガナ	
		氏 名	

本学部・学科を志望した理由、あなたの目指す将来の進路および自らを本学部・学科に推薦する理由について、1,000 字程度にまとめ、記入してください。(本人直筆。黒・青のボールペン。消せるボールペンは使用不可)

	100
	200
	300
	400

フロンティアサイエンス学部	受験番号	※大学使用欄 N
---------------	------	-------------

公募制推薦入学試験〔探究活動評価型〕 探究活動に関するレポート

※（本人直筆。黒・青のボールペン。消せるボールペンは使用不可）

学校名 (高校名)		出願番号	フリガナ	
			氏名	

〔探究した研究課題〕 (50字以内)

探究した内容がわかるようなタイトルとすること。

例) ○○川におけるマイクロプラスチックの流入源の調査

50	
----	--

〔研究背景〕 (350～500字)

過去の研究・調査の動向(研究課題に関して何がどこまで明らかになっているのか)を簡条書きで示すこと。また、研究課題の意義(なぜこの研究課題に取り組まなくてはならないのか)を簡潔に示すこと。

例) 2015年、●●大学の研究グループにより、○○川の河口から5 km上流においても1 m²あたり234個のマイクロプラスチックが確認された。(●●大学研究紀要、●巻、●号、●～●ページ、○○年)

例) マイクロプラスチックは生物に対して物理的および化学的被害を及ぼす懸念があるとして世界中で問題視されている。身近な流入源について調査することは、私たち自身が身のまわりでマイクロプラスチックの解決のためにできることを考えるうえで、欠かせない情報である。

100	
200	

300

400

500

[設定した目的・仮説] (125字以内)

課題に関して何をどこまで達成しようとしたのか、わかりやすく示すこと。なお、目的は「本研究では、～することを目的として研究(調査)を行った。」というかたちで表すこと。

例) 本研究では、●●川の河口から●km～●kmの区間について、マイクロプラスチックの流入源、流入量を推定することを目的として、マイクロプラスチック量の調査を行った。

100

125

[課題を解決するためにとった方法] (100～300字)

どのような実験、観察、調査等で、どのような結果を得ようとしたのか、その方法を箇条書きで示すこと。

- 例) ①●●大学の研究グループが確認した地点から上流に向かって1kmごとに調査を行った。
 ②▶▶法により、1㎡あたりのマイクロプラスチック量を確認した。
 ③各調査地点のマイクロプラスチック量を地図上に示し、流入源、流入量について考察した。

100

